

# 感染管理スキルアップ研修会 課題実践発表会を開催しました。

第2報

本研修会は、宮崎県内の安全な医療の実現のために、感染管理に関するより専門的な知識及び技術を修得し、チームリーダーとして自施設の医療関連感染の予防と管理に貢献できることを目的として実施しています。

受講者26名は、7～9月の期間、講義・演習で得た学びを活かし、各所属施設の感染管理の課題に取り組んできました。

今回、それらの実践発表会を開催しました。

開催日：平成28年10月22日(土)



「手指衛生遵守への取組」「オムツ交換時の標準予防策」「採血時の手袋装着」「清拭用タオル加温器の管理」「感染管理における組織づくり」など、各所属施設の感染管理における課題に対し、改善計画に沿って実践し、得られた成果を発表しました。

「手指衛生の直接観察法を行うことで、適切なタイミングでの実践に繋がった」「ICT活動を開始し院内ラウンドが実施できた」など、多くの成果が得られていました。同時にそれらの継続の重要性を感じていました。

受講者は、お互いの施設における感染管理活動に活かせるように意見交換を行い、県内の感染管理認定看護師3名からエビデンスに基づいた助言をいただきました。



感染管理認定看護師からの助言・講評

## アンケートより

- 1人で医療関連感染予防を実践するには限界があるが、協力者を活用することで組織的活動の原動力になると思った。
- 他施設の実践を聞き、自施設でも取り入れることができることが多くあり参考になった。大変貴重な時間となった。
- 発表の際に、根拠に基づく具体的な助言をもらうことができ、さらに次の課題が明確になった。
- それぞれの病院で抱えている感染管理の問題点とそれに対する取り組みについて、病院の特性に応じたアプローチ方法など、非常に多岐な観点で面白かった。今後のアプローチ方法として活用していきたいと思う。
- 施設の感染委員として、医療関連感染予防ができる安全な環境が提供できるように今後も尽力していきたい。

皆様の組織のリーダーとしての実践が、県内の医療関連感染の予防と管理の質向上に繋がっていくことを願っております。